

「ケアラー支援」講演会

「支える人」を「支える」ために

大切なだれかをケアするあなたも大切なひとりです

「ケアラー」って、だれのこと？

あなたが大切なだれかを無償でケアしているなら、それはあなたのことです。

「ケアラー支援」とは？

なによりもまず、大切な人をケアしているあなたを大切なひとりと認め尊重すること。
ケアラーであるあなたが、あなたらしく生きられるよう支援することです。

だれもがケアされ、ケアする人になりえる時代に

「ケアラー支援」という視点に気づいてもらいたい……。

それは、「障害のある人の親である私たち」からの発信です。

《講演》



ケアラーが「助けて」と言える社会をめざして

講師：堀越栄子さん
日本ケアラー連盟代表理事
日本女子大学教授

平成30年12月26日(水)

13:30~15:30 (13:00~受付)

- ❖ところ 土成保健センター(御所の郷 東隣)
阿波市土成町吉田字寺ノ下1-1
- ❖参加費 500円
- ❖申込み 阿波市社会福祉協議会
TEL 0883(36)5511
FAX 0883(36)7040
- ❖締切り 12月20日(木)

ケアラーを社会で支えるしくみを



一般社団法人
日本ケアラー連盟
Carers Japan



日本ケアラー連盟は――

①ケアラーの課題を明らかにし、ケアラー支援の必要性を訴えます。

日本の社会保障制度にはまだケアラー支援の視点がありません。ケアする人、ケアされる人の両当事者がともに尊重され、その権利が擁護されなければ、よいケアもケアラーのあたりまえの社会生活も守れません。調査や研究を深めて、ケアラーのおかれている状況を把握し、課題を明らかにして、ケアラー支援を広く社会に訴えます。

②ケアラーの健康と生活、人権を守ります。

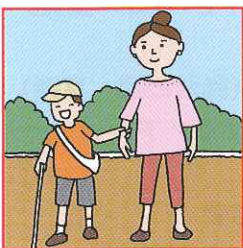
ケアラーが、ストレスや不安、疲労や不眠などによって心身の健康をそこねたり、貧困や社会的孤立に追いこまれず、学業や仕事を継続し、安定した生活をたもてるようにするには、社会的支援が不可欠です。ケアラーが将来への希望をもてるように、その人生を応援します。

③法制化をはかり、社会全体でケアラーを支えるしくみをつくります。

日本は少子高齢化が進み、だれもがケアラーになる社会になりました。すべての世代にわたる多様なケアラーが、多様な相手をケアしています。地域包括ケアシステムの中にケアラー支援を位置付け、総合支援・地域生活支援事業として、法的、政策的に地域や社会全体で支えるしくみをつくる必要があります。

④ケアラー支援で持続可能な社会をつくります。

ケアラーを社会的に放置すれば、教育や雇用機会の喪失、経済的逼迫や無年金・低年金など社会的・経済的影響は計り知れません。将来の社会保障コスト・社会的リスクも大きくなり、社会の支え手の減少を招きます。多くの先進諸国にはケアラー支援のための法律や政策があります。日本の将来にとっても、ケアラーの社会的支援は不可欠です。



障害をもつ子どもを育てている

こんな人が
介護する人
ケアラーです



健康不安を抱えながら高齢者が高齢者をケアしている



仕事と介護でせいっぱいでほかに何もできない



仕事を辞めてひとりで親の介護をしている



遠くに住む高齢の親が心配で頻繁に通っている



目を離せない家族の見守りなどのケアをしている



アルコール・薬物依存やひきこもりなどの家族をケアしている



障害や病気の家族の世話や介護をいつも気にかけている